

2019年卒学生の就活準備とインターンシップに関する調査

キャリアス就活 2019 会員 2017年8月調査

インターンシップを導入する企業が増え、早期から就職活動の準備に取り組む学生が増加傾向にある。ディスコでは、キャリアス就活 2019 登録学生（2019年3月卒業予定者）を対象に、2017年8月中旬時点での就職活動準備状況やインターンシップの参加状況などを調査・分析した。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| [1] 興味のある業界 | [5] インターンシップ参加状況 |
| [2] 就職活動準備状況 | [6] 今後のインターンシップ参加予定 |
| [3] 業界研究・企業研究の予定時期 | [7] インターンシップに参加したい理由 |
| [4] 就職活動の情報源 | [8] インターンシップの就職への有利度 |
| | [9] 就職活動への不安 |

《調査概要》

調査対象 : キャリタス就活 2019 会員
(2019年3月卒業予定の全国の大学3年生・大学院修士課程1年生)

調査時期 : 2017年8月9日～8月17日

調査方法 : インターネット調査法

回答者数 : 1320人 (文系 904人、理系 416人)

調査機関 : 株式会社ディスコ キャリタスリサーチ

[1] 興味のある業界

現時点で興味を持っている業界を、10分類の中から3つまで選んでもらったところ、文系の1位は「メーカー」で、4割強(43.9%)が選んだ。2位「金融」(34.6%)、3位「サービス」(33.1%)、4位「商社」(32.0%)までが3割台で、比較的分散している。理系の1位は、文系同様「メーカー」だが、7割近くが選んでおり集中度が高い(68.0%)。

「特にない・まだわからない」は文理ともに1割未満にとどまる。

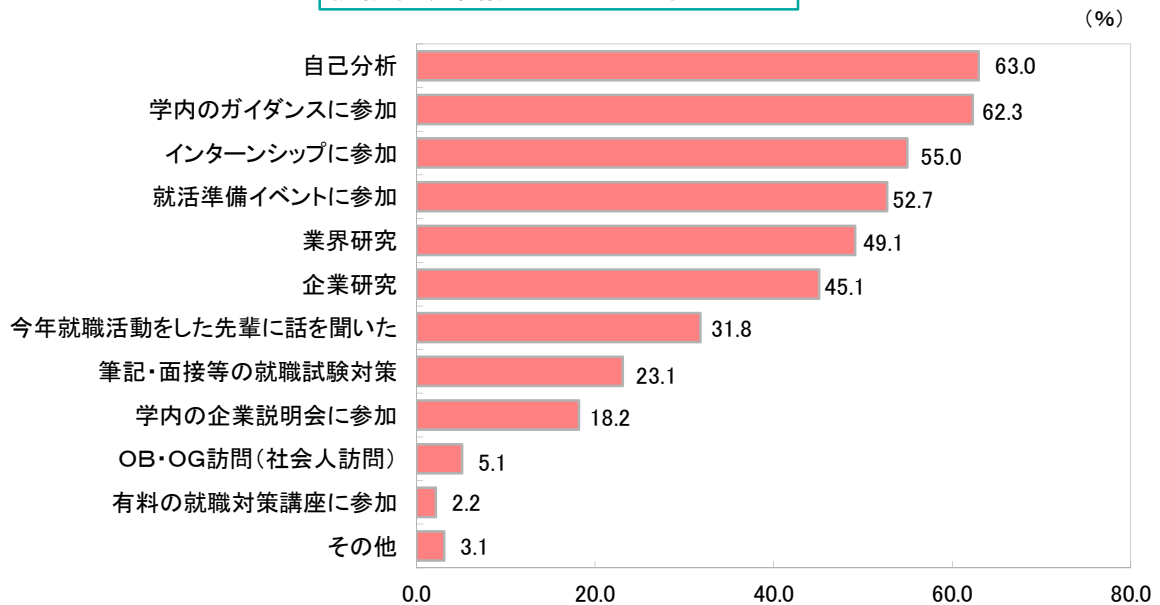
現時点で興味のある業界

文系		理系			
1	メーカー	43.9	1	メーカー	68.0
2	金融	34.6	2	IT・情報処理	33.2
3	サービス	33.1	3	情報(通信・マスコミ)	16.8
4	商社	32.0	4	エネルギー	15.6
5	情報(通信・マスコミ)	23.6	5	官公庁・団体	14.9
6	IT・情報処理	17.7	6	サービス	14.2
	官公庁・団体	17.7	7	商社	11.8
8	流通	9.8	8	金融	7.2
9	運輸・倉庫	7.7	9	運輸・倉庫	6.3
10	エネルギー	5.5	10	流通	4.8
	特にない・まだわからない	6.5		特にない・まだわからない	4.6

【2】就職活動準備状況

これまでに行った就職活動準備について尋ねた。1位「自己分析」、2位「学内のガイダンスに参加」がともに6割を超える(63.0%、62.3%)。「インターンシップ」、「就活準備イベント」も半数強が参加しており、多くの学生が積極的に就活準備に取り組んでいる様子うかがえる。

就職活動準備でこれまでに行ったこと

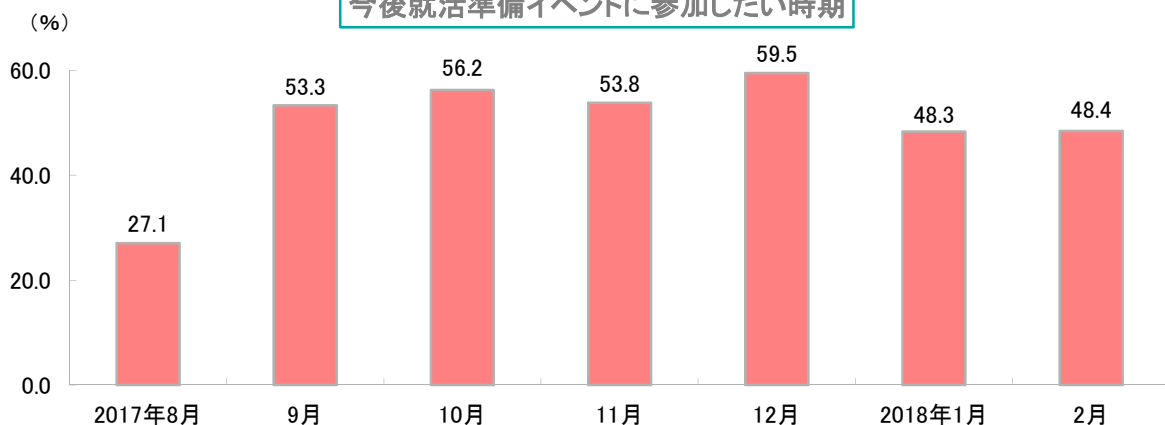


今後、就活準備イベントへの参加を予定している学生は約9割。平均参加予定回数は3.8回に上る。参加したい時期としては、「12月」が約6割で最も多いものの(59.5%)、年内はいずれの月も5割を超える。冬のインターンシップ企業を探すために、イベントへの参加を予定している学生が多いことが推測される。年明け以降のイベントについても、半数近い学生が早くも参加を計画している。

就活準備イベントへの今後の参加予定

	(%)・回)		
	全体	文系	理系
参加予定あり	90.5	91.7	87.7
今後の参加予定回数(平均)	3.8	3.9	3.7

今後就活準備イベントに参加したい時期

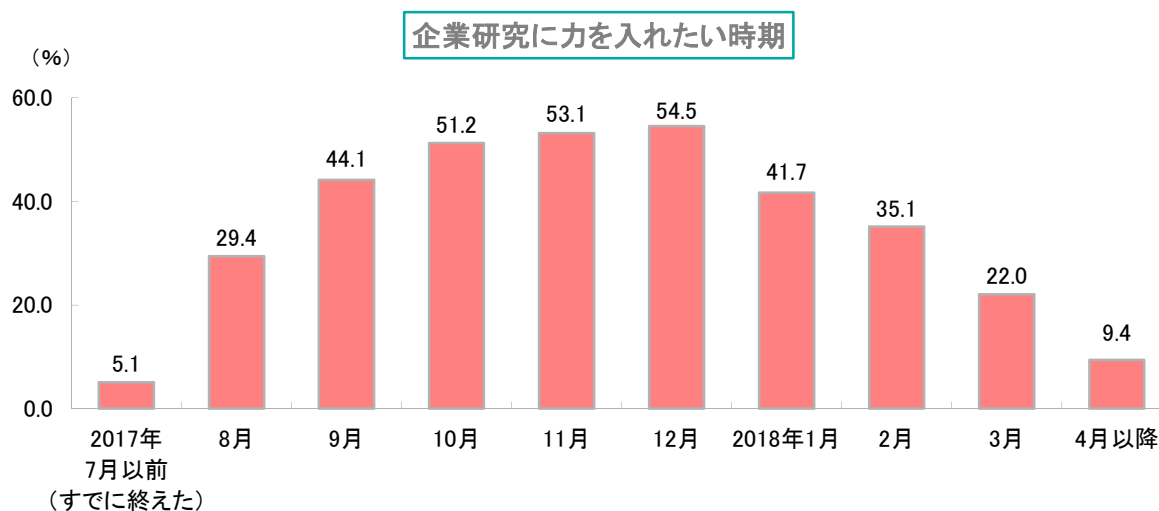
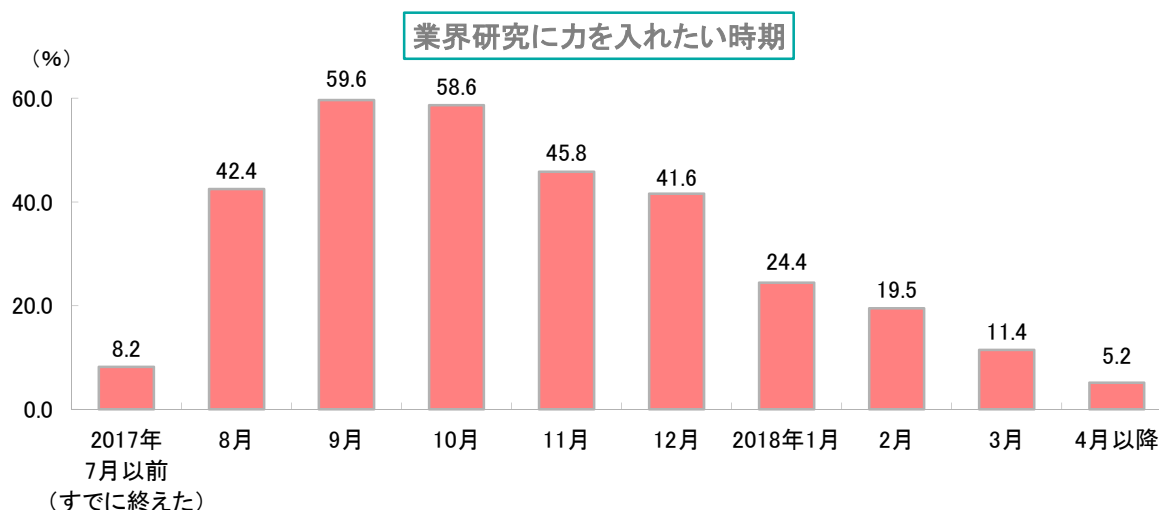


※「就活準備イベント」は業界研究イベントやインターンシップイベントなどを含む

【3】 業界研究・企業研究の予定時期

「業界研究に力を入れたい時期」を尋ねたところ、最も多いのは「9月」で約6割(59.6%)。「10月」(58.6%)が僅差で続く。また、「企業研究に力を入れたい時期」は、「12月」が54.5%で最も多かった。「10月」「11月」も5割を超えている。

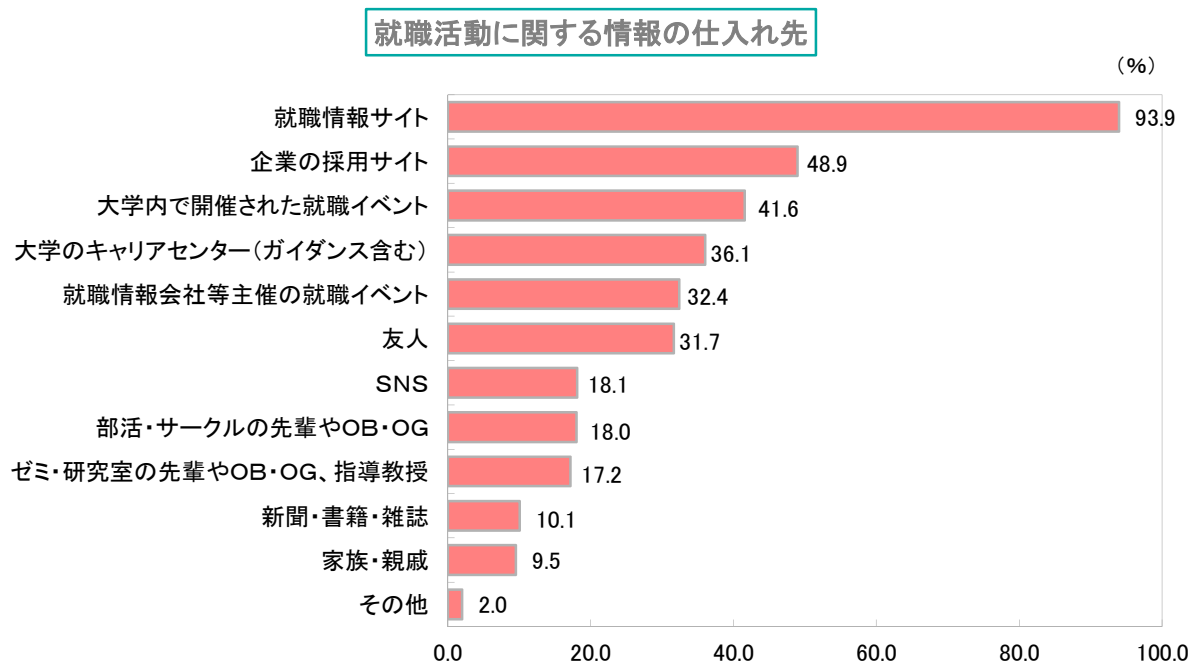
学生のコメントを見ると、夏から秋にかけて業界研究を進めて志望業界を固めたうえで、年内に企業研究に取り組み、3月の採用広報解禁までにある程度志望企業を絞りたいと考えている学生が多いようだ。学生優位の売り手市場にもかかわらず、前のめりの姿勢が鮮明だ。



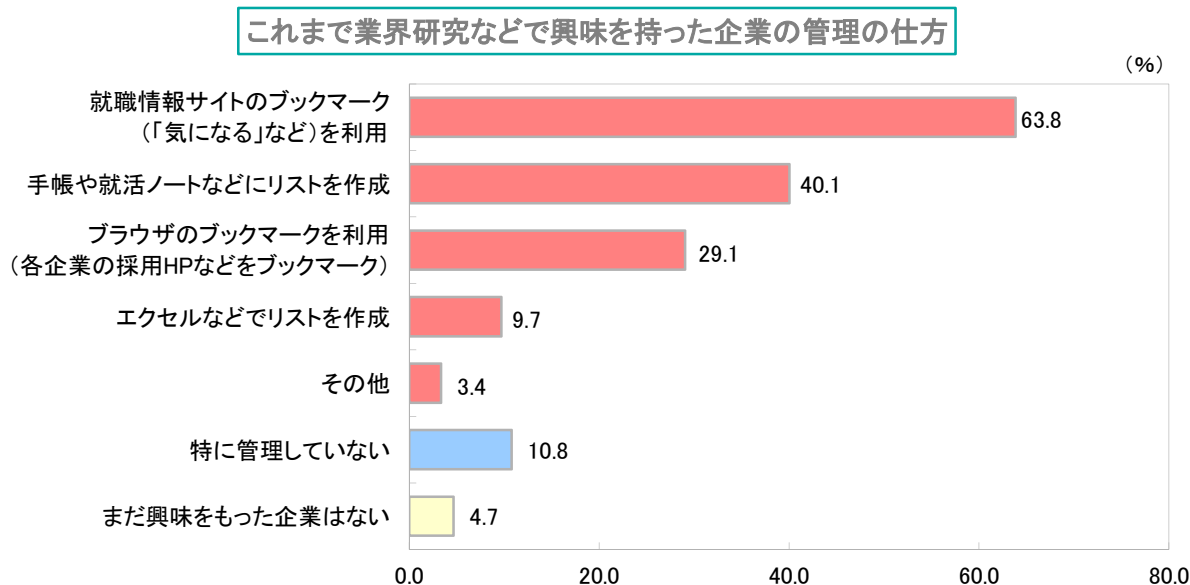
- 時間のある夏休みに業界研究を進めたい。 <理系女子>
- 秋に志望の業界などを調べ、方針を決めたい。 <文系男子>
- 冬に志望企業を決めたいので、秋までに業界を決める予定です。 <文系女子>
- 先輩に早めの準備が必要と教わったので、早期からしっかり取り組みたい。 <理系女子>
- 1月以降は筆記、面接対策をするので、それまでに業界研究や企業研究を終わらせたい。 <文系男子>
- 3月より前までには受ける企業は絞りたい。 <理系男子>

[4] 就職活動の情報源

就職活動に関する情報の仕入れ先として最も多いのは「就職情報サイト」。9割超（93.9%）と群を抜いて多く、業界研究やインターンシップの募集情報などを収集する上で、学生にとって欠かせない情報源であることがよくわかる。2位の「企業の採用サイト」は半数近くに上り（48.9%）、夏の時点で、早くも多くの学生が個別企業の採用サイトを閲覧している様子が見えてくる。



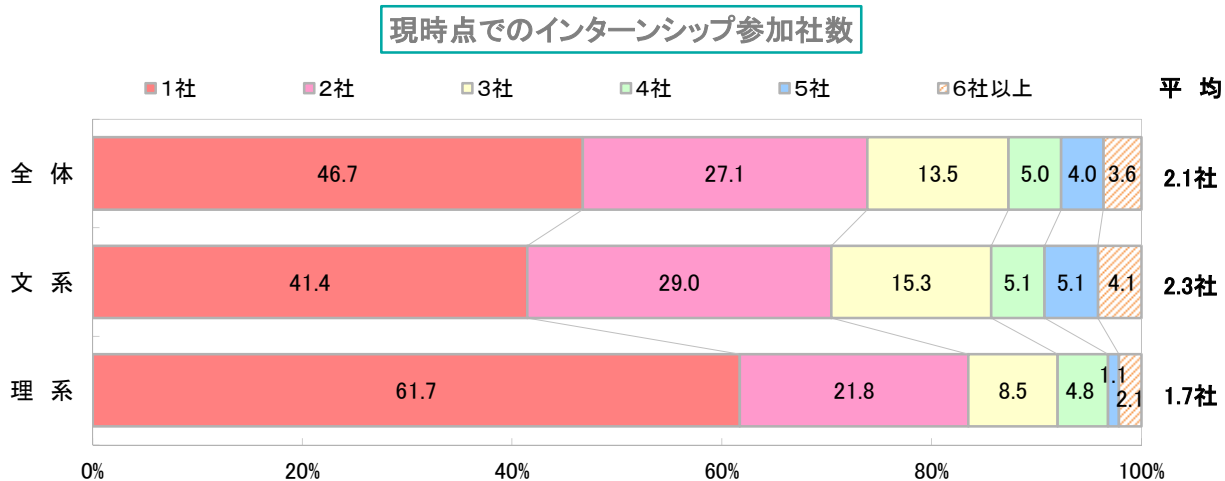
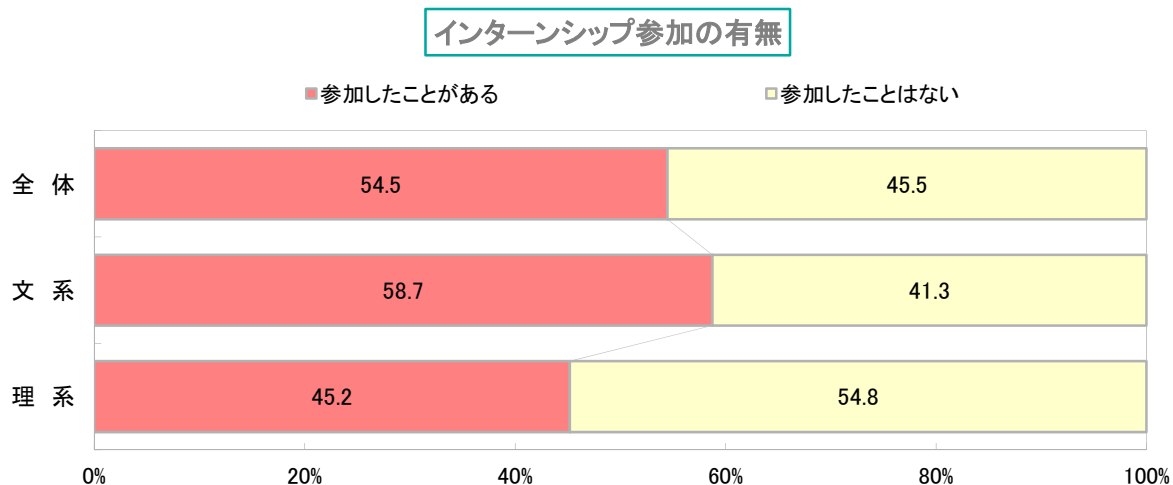
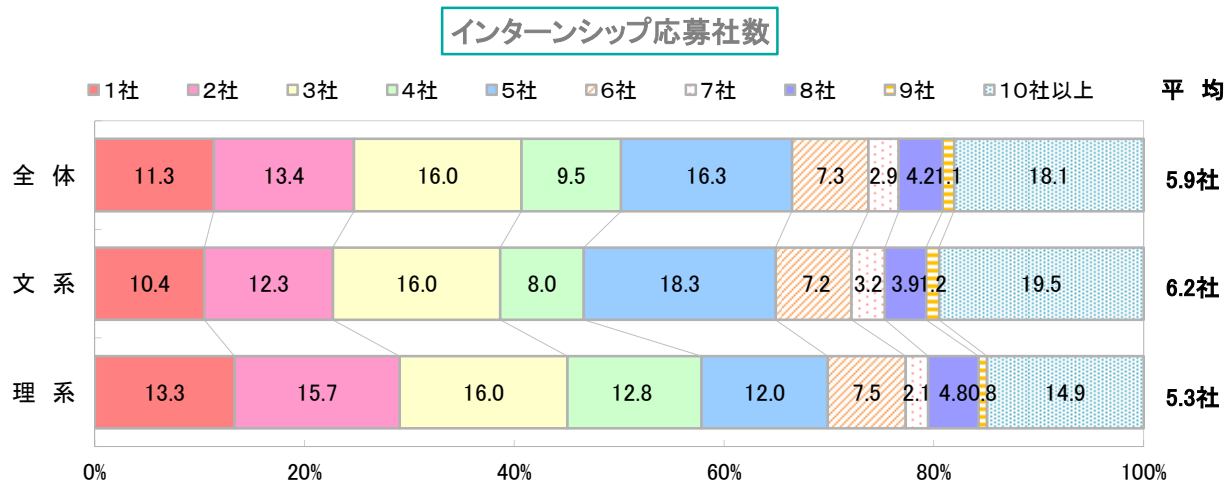
業界研究や企業研究などで興味を持った企業をどのように管理しているかを尋ねた。最も多いのは「就職情報サイトのブックマークを利用」で6割強（63.8%）。就職活動の主な情報源として利用している就職情報サイトを閲覧して気になった企業を、そのままサイト内で管理している学生が多いと考えられる。



【5】インターンシップ参加状況

8月中旬の調査時点で、インターンシップに応募したことがある学生は、全体の9割を超える(90.2%)。応募社数の平均は、5.9社。10社以上応募した学生は2割近くに上る(18.1%)。

参加経験を持つ学生は約半数(54.5%)。この時期としては高い数字と言えるだろう。応募済みインターンへの参加を控えている学生も多く、秋に向けて参加率は大きく上がりそうだ。一方で、事前選考を通過できず、参加できていない学生も少なくないようだ。

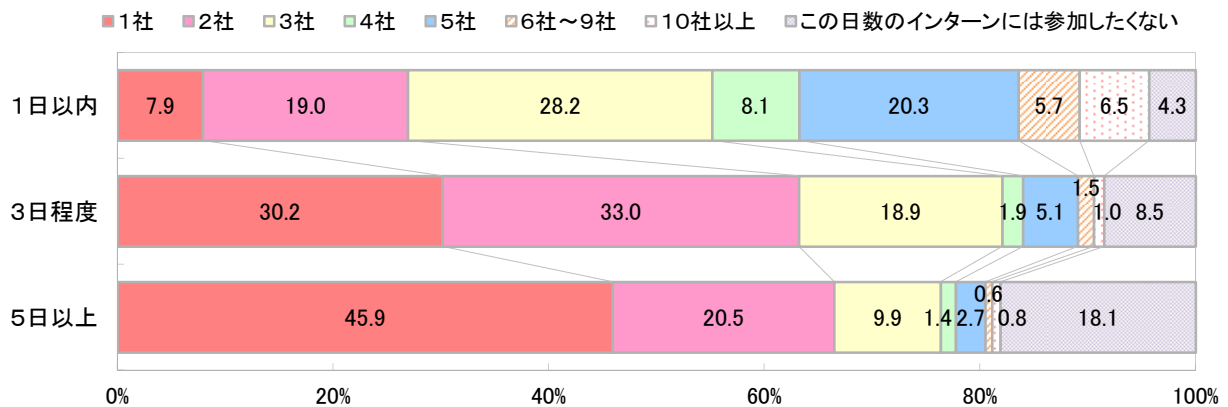


[6] 今後のインターンシップ参加予定

今後、インターンシップに参加したいかどうかを尋ねたところ、96.0%が「参加したい」と回答。「参加したくない」はわずか4.0%にとどまった。

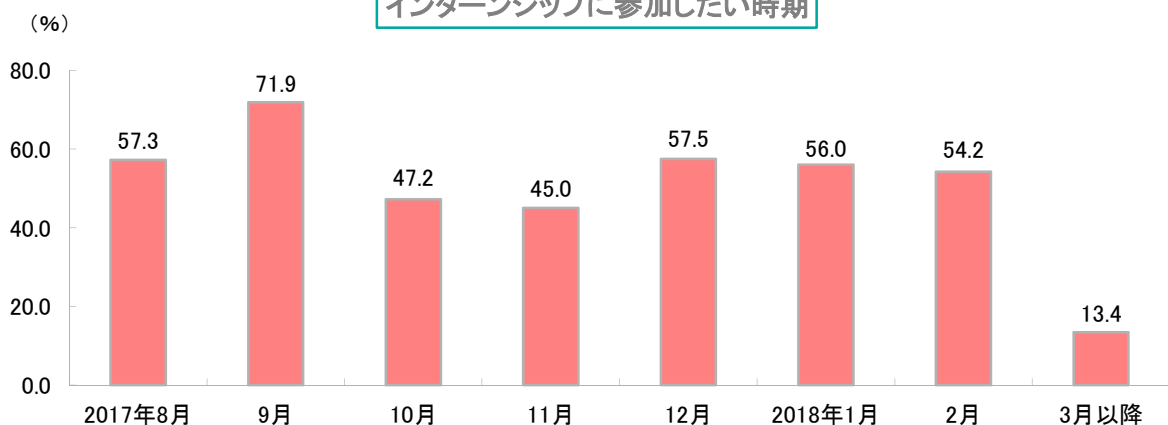
インターンシップに参加したいと回答した学生に、参加したい社数を、インターンシップ日数別に尋ねた。「1日以内のインターン」では、「3社」が最も多く(28.2%)、次に「5社」(20.3%)が続いた。「3日程度のインターン」では、「2社」が最多で(33.0%)、僅差で「1社」(30.2%)が続いた。「5日以上インターン」では、「1社」が最多で、半数近くに上る(45.9%)。短期のプログラムには多く参加し、長期のものには厳選して参加したい考えがうかがえる。

今後、インターンシップに参加したい社数



インターンシップに参加したい時期として最も多かったのは「9月」で71.9%。「8月」も57.3%あり、すでに参加予定のインターンがある学生も含め、夏季休暇中に参加しておきたいという考える学生が多いようだ。後期授業のある秋はややポイントが落ちるものの、12月から2月にかけて、いずれも半数を超えており、冬のインターンシップで企業理解を深めたり、志望企業をある程度絞り込みたいと考えている学生が多いことがわかる。

インターンシップに参加したい時期

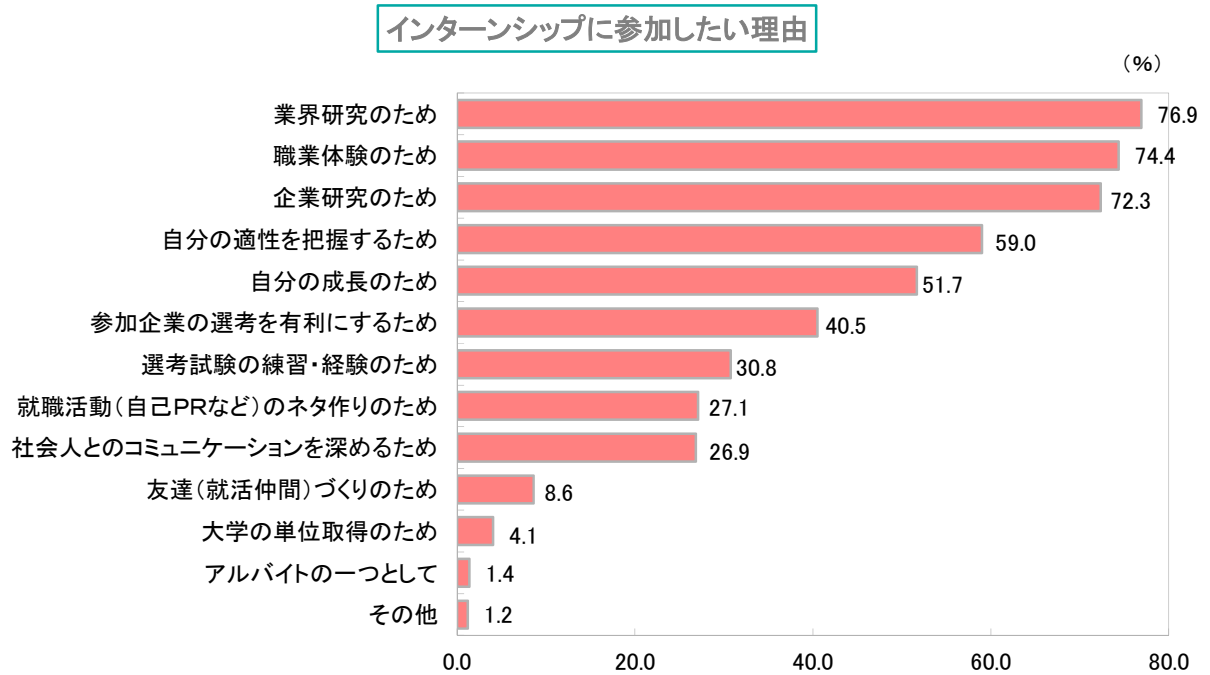


- これから色々な業種のインターンシップに参加したい。 <文系女子>
- 事前に企業を絞り込んだ上で、冬のインターンシップに参加したいと考えている。 <理系男子>
- 年明け前後のインターンシップを通じて企業研究を進めたい。 <文系女子>
- 冬のインターンでは志望する会社を絞りたい。 <理系女子>
- 部活をしているため、積極的にインターンシップに参加ができない。 <文系男子>

[7] インターンシップに参加したい理由

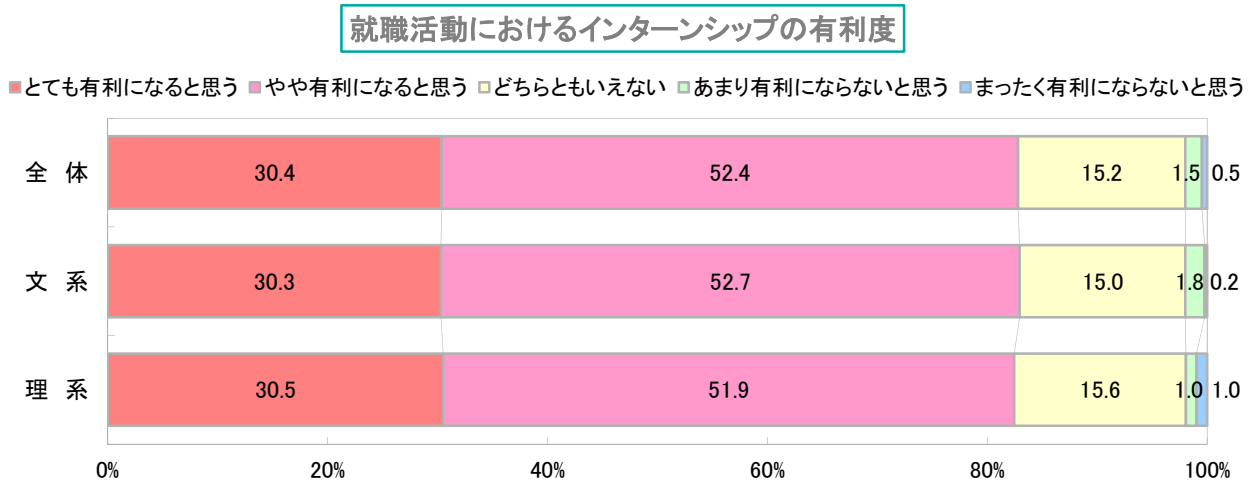
インターンシップに参加したい理由を尋ねたところ、最も多いのは「業界研究のため」(76.9%)。2位「職業体験のため」(74.4%)、3位「企業研究のため」(72.3%)までが7割を超える。4位「自分の適性を把握するため」も6割近くが選んでおり、業界や企業の概要を知ることに加え、自分に合う企業かどうかを判断する機会として捉えていることがわかる。

その他「参加企業の選考を有利にするため」(40.5%)、「選考試験の練習・経験のため」(30.8%)など、直接的に就職活動を意識して参加する学生も一定数存在する。



[8] インターンシップの就職への有利度

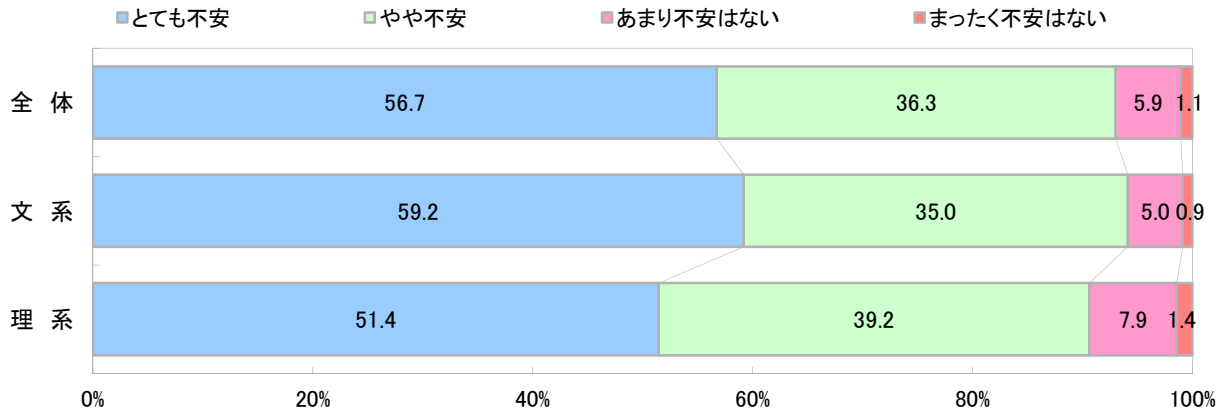
インターンシップ経験が就職活動において有利になると思うかを尋ねた。「とても有利になる」(30.4%)と「やや有利になる」(52.4%)を合わせた8割強(82.8%)の学生が、有利になるとの見方を示している。上記で見たように、参加企業の選考に有利になるといった直接的な理由だけでなく、早期に業界や企業を知り、理解を深めることで適性を確認できるなど、学生がインターンシップに様々な期待を寄せていることがうかがえる。



[9] 就職活動への不安

最後に、自身の就職活動に不安を感じるかを尋ねた。「とても不安」と「やや不安」を足し合わせると不安を感じている学生は9割を超える(93.0%)。初めての就職活動を手探りで進めることへの不安に加え、インターンシップの事前選考に通らないことへの焦りや不安を訴える声が多く見られた。

自身の就職活動への不安



■就職活動に関して思うこと・不安なこと

- 興味のある業界はあるのですが、適性があるかわからなくて不安。 <文系女子>
- 特殊なスキルを持っているが、それを活かせる会社に出会えないのではないかと不安がある。 <理系男子>
- インターンシップの選考がうまく通らず、参加したいのになかなか参加できる企業がない。インターンシップの段階で上手いかなと、就職活動でも上手いかなとは思ってしまい、不安です。 <文系男子>
- きちんと働ける会社に入りたいが、ブラック企業などでないかが怖い。 <理系男子>
- 就活に関しては、OBの話聞くことがとても役立つと感じることが多いです。 <文系女子>
- 最初は不安が大きかったが、早い段階からセミナーなどに参加し、意識の高い学生と会話をしたり先輩の話を聞いたりする機会があったので、今の段階では就職活動を良い意味で楽しめていると感じる。 <文系女子>
- 親が自分の就職活動について意見してくるが、みんなの家ではどうなのだろうか。親の時代と就職活動の常識は違うと反発してしまうが、応援してくれているのもわかっているのでなんだか気まずい。 <文系女子>

■就職活動に関して、今知りたいこと・欲しい情報

- 業界の特徴や企業の特徴について知りたいと考えます。 <文系男子>
- 大手企業だけでなく、地元の中小企業についてももっと詳しく知りたい。 <文系女子>
- 興味ある業界に進まれた先輩方の、去年のこの時期の先輩の動向を知りたいです。 <理系女子>
- 自分の大学の学生や先輩がどういった業界、会社を志望しているか、あるいは内定をもらったかを知りたい。 <文系男子>
- OB・OG訪問のやり方。同じ大学とはいえ、どこからアポを取ればいいかわからない。 <理系男子>
- 就職活動を経験された先輩方の体験談を聞けるイベントがあれば是非参加したい。また、ESの添削の仕方や書き方のコツ等がまだわからないので、講座などがあるととても助かります。 <文系女子>
- その会社の女性の年代別の割合や育児の後、職場復帰しやすいかどうか知りたい。 <理系女子>
- 働きがい、職場の雰囲気、インターンがどれだけ選考に有利なのか。 <文系女子>
- 企業はどのような人材を必要としているのか、どのような基準で採用を決めているのか、どのようなことを学生に求めているのかなどについて示してくれると助かる。 <文系男子>
- 入社前と入社後で感じたギャップの生の声を聞きたい。 <文系女子>